

第51回 全国高等専門学校体育大会

第43回 全国高等専門学校体育大会

野球競技



大会期日

平成28年8月27日(土)～28日(日)

(雨天の場合は8月29日(月)まで延長、29日雨天の場合は中止)

大会会場

A会場 丹南総合公園野球場

〒915-0891 福井県越前市余田町50-4-1 ☎0778-42-6780

B会場 鯖江市西山公園野球場(練習会場)

〒916-0041 福井県鯖江市水落町1丁目7 ☎0778-51-3176

- 主催／一般社団法人全国高等専門学校連合会
- 主管／全国高等専門学校体育大会野球競技専門部
福井工業高等専門学校
- 後援／文部科学省、公益財団法人日本体育協会、福井県、福井県教育委員会、
公益財団法人福井県体育協会、越前市、越前市教育委員会、
公益財団法人越前市体育協会、鯖江市、鯖江市教育委員会、
一般社団法人鯖江市体育協会、福井県高等学校野球連盟

社団法人全国高等専門学校体育協会マーク

全国高等専門学校体育協会マーク



手は技術を表わす。

手を開いた親指の部分为首、他の4本を翼にして、鳩を表徴している。

鳩は平和と共に伝書鳩の速力と正確さを表徴する。

下の楕円は大地を意味し、技術がしっかりと地についたものであることを求める。

心、技、体の3つが立派に調和した姿を青年諸君に強く期待する。

私はこのような心持でこのマークを作ったのである。

昭和42年 盛夏

赤澤 鉦太郎

作家のご紹介

元 京都高等工芸学校助教授

元 京都市染色試験所図案部長

目次

一般社団法人 全国高等専門学校連合会会長あいさつ	1
文部科学大臣祝辞	2
第51回全国高等専門学校体育大会実行委員長あいさつ	3
大会役員	4
実行委員会	6
第51回（平成28年度）全国高等専門学校体育大会実施要項	8
競技種目・競技日程・開催校・競技会場一覧	11

【硬式野球競技】

歓迎の挨拶	12
野球競技実施要項	13
大会競技規則細則	16
競技役員	17
会議・式典次第	18
組合せ表	19
チーム紹介・選手名簿	20
年次別大会成績一覧	25
会場案内図	27

<第 51 回全国高等専門学校体育大会プログラム 会長挨拶>

あ い さ つ



一般社団法人 全国高等専門学校連合会
会長 前野 一 夫

このたび、東海北陸地区を担当として開催される第 51 回全国高等専門学校体育大会に、全国 57 校 62 キャンパスの高等専門学校を代表する学生諸君が集い、「その努力が実る場所！」のスローガンの下に、盛大なる若人の祭典が繰り広げられますことは、誠に喜びに堪えません。

本大会は、豊田工業高等専門学校を担当校とし、同校並びに富山高等専門学校本郷キャンパス、富山高等専門学校射水キャンパス、石川工業高等専門学校、金沢工業高等専門学校、福井工業高等専門学校、岐阜工業高等専門学校、沼津工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、鈴鹿工業高等専門学校、神戸市立工業高等専門学校の 10 校 11 キャンパスを開催会場として、14 種目の競技が実施されます。全国 8 地区の大会で優秀な成績を収め、本大会出場の栄誉を勝ち取られた皆さんが、これまでの厳しい練習で培ってこられた力を遺憾なく発揮されるとともに、それぞれの競技を通じて友情の輪が育まれることを期待しております。

本大会の目的は、高等専門学校教育の一環として、学生に広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身の健康な学生を育成するとともに、高等専門学校学生相互の親睦を図ることにあります。併せて、厳しい練習過程や大会での実戦を通じて、学生の人間性の陶冶と人格形成を図り、将来の技術者としての資質と能力を磨くことに資するものであります。

参加される皆さん一人ひとりが本大会の目的を念頭に置かれ、高等専門学校の学生として節度ある行動のもとに、所期の目標を達成されることを祈念いたします。

来年度は小山高専を担当校とし、関東信越地区で開催されます。本大会における盛り上がりや次回の大会に引き継ぐべく、国公立私立高専が一同に集うことで、より全国高専の一体感、連帯感が醸成され、高専としてのアイデンティティーが形成されることを強く望みます。

最後に、各関係競技団体並びに御支援を賜りました文部科学省、公益財団法人日本体育協会、愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、富山県、石川県、福井県をはじめ、本大会の運営に御協力くださいました多くの皆様に心よりお礼を申し上げ、挨拶いたします。

<第51回全国高等専門学校体育大会プログラム 文部科学大臣祝辞>



祝 辞

文部科学大臣

馳 浩

第51回全国高等専門学校体育大会が、全国から多数の参加者を得て、盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

本大会は、高等専門学校教育の一環として、学生に広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な学生を育成し、また、高等専門学校相互の親睦を図ることを目的とした伝統ある大会であると伺っております。

今年は、ブラジルのリオデジャネイロでオリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、4年後の2020年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。文部科学省としましても、大会を成功させるため、選手の育成を図るとともにスポーツの促進に向けて全力で取り組んで参りたいと思います。また、開催後も誰もがスポーツを身近に親しむことのできる環境づくりを推進し、人と人との交流及び地域と地域との交流を促進していきたいと思っております。

選手の皆さん、いつも支えてくれている方々への感謝の気持ちを忘れず、日頃の練習の成果を存分に発揮してください。そして、全国各地から集まった仲間との親睦を大いに深め、本大会が生涯の思い出に残るすばらしい大会となることを願っています。

結びに、伝統ある本大会の開催、運営に御尽力されました関係の皆様方に敬意を表しますとともに、本大会の成功を祈念し、お祝いの言葉といたします。

あいさつ



第 51 回全国高等専門学校体育大会

実行委員長 高井吉明
(豊田工業高等専門学校長)

第 51 回全国高等専門学校体育大会が、「その努力が実る場所！」をスローガンに、8 月 17 日から東海北陸地区で開催されます。高専体育大会は教育の一環として高専生の心身の錬磨と人格の陶冶並びに全国高専生の交流を目的に行われます。全国 57 校 62 キャンパスの高等専門学校の選手諸君、指導教員をはじめ、多くの関係者をお迎えし、大会を開催できますことを喜び、競技開催校を代表して心から歓迎申し上げます。

高等専門学校は、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力の育成を目的に 1962 年から全国で設立され始め、現在創立 50 周年を順次迎えています。全国高等専門学校体育大会は、昨年、第 50 回の節目を迎えました。実は、この全国高等専門学校体育大会の記念すべき第 1 回大会は豊田高専が主管となって、1966 年にスタートしました。第 51 回の本体育大会は豊田高専が第 2 回目の主管校として開催するものであり、新たなスタートを切ったという思いであります。高専生の日ごろのクラブ活動は、社会のリーダーとして心身共に健全な人材の育成に大きな役割を果しており、その活動の成果を競う本体育大会も歴史と伝統ある大会に発展してきています。

今年の大会は、東海北陸の各地及び神戸市の競技会場で 14 種の競技が行われます。それぞれの競技の開催担当校は、豊田工業高等専門学校（陸上競技、卓球、剣道）、鳥羽商船高等専門学校（バスケットボール）、岐阜工業高等専門学校（バレーボール、テニス）、鈴鹿工業高等専門学校（ソフトテニス）、石川工業高等専門学校（柔道）、福井工業高等専門学校（硬式野球）、沼津工業高等専門学校（サッカー）、金沢工業高等専門学校（ハンドボール）、富山高等専門学校射水キャンパス（バドミントン）、富山高等専門学校本郷キャンパス（水泳）及び神戸市立工業高等専門学校（ラグビーフットボール）の計 10 高専 11 キャンパスとなっています。

本大会に出場する学生諸君は、地区大会を勝ち抜き、地区の代表選手として参加しています。日ごろの鍛錬の結果を遺憾なく発揮して、正々堂々と全力を尽くして悔いのない闘いをして頂きたいと願っています。また、この大会を通して、全国高専の仲間や競合相手とも親睦と交流を深め、高専生間の絆を一層強くして頂ければ幸いです。

最後に、本大会を開催するにあたり、多大な御支援と御助力を賜りました関係諸機関・団体並びに関係各位に心から感謝申し上げます、歓迎の挨拶といたします。

大会役員

名誉会長

公益財団法人日本陸上競技連盟会長
公益財団法人日本バスケットボール協会会長
公益財団法人日本バレーボール協会会長
公益財団法人日本サッカー協会会長
公益財団法人日本ハンドボール協会会長
公益財団法人日本テニス協会会長
公益財団法人日本バドミントン協会会長
公益財団法人日本ラグビーフットボール協会会長

横川 浩
三屋 裕子
木村 憲治
田嶋 幸三
渡邊 佳英
畔柳 信雄
綿貫 民輔
岡村 正

会長

木更津工業高等専門学校長

前野 一夫

副会長

神戸市立工業高等専門学校校長
鈴鹿工業高等専門学校長
/鳥羽商船高等専門学校長
石川工業高等専門学校長
岐阜工業高等専門学校長
金沢工業高等専門学校長

山崎 聡一
新田 保次
須田 義昭
伊藤 義人
ルイス・パークスデール

サレジオ工業高等専門学校長
富山高等専門学校長
福井工業高等専門学校長
沼津工業高等専門学校長
豊田工業高等専門学校長

小島 知博
石原 外美
松田 理
藤本 晶
高井 吉明

顧問

文部科学省スポーツ庁長官
公益財団法人日本体育協会会長
愛知県知事
三重県知事
富山県知事
福井県知事
岐阜県教育委員会教育長
静岡県教育委員会教育長
福井県教育委員会教育長
岐阜市長
四日市市長
鳥羽市長
裾野市長
富山市長
射水市長
鯖江市長
津幡町長

鈴木 大地
張 富士夫
大村 秀章
鈴木 英敬
石井 隆一
西川 一誠
松川 禮子
木苗 直秀
森近 悦治
細江 茂光
田中 俊行
木田 久主一
高村 謙二
森 雅志
夏野 元志
牧野 百男
矢田 富郎

文部科学省高等教育局長
一般財団法人全日本剣道連盟会長
岐阜県知事
静岡県知事
石川県知事
愛知県教育委員会教育長
三重県教育委員会教育長
石川県教育委員会教育長
豊田市長
鈴鹿市長
伊勢市長
沼津市長
三島市長
高岡市長
金沢市長
越前市長
豊田市教育委員会教育長

常盤 豊
張 富士夫
古田 肇
川勝 平太
谷本 正憲
平松 直巳
山口 千代己
田中新太郎
太田 稔彦
末松 則子
鈴木 健一
栗原 裕康
豊岡 武士
高橋 正樹
山野 之義
奈良 俊幸
福嶋 兼光

岐阜市教育委員会教育長	早川三根夫	鈴鹿市教育委員会教育長	長谷川雅人
四日市市教育委員会教育長	葛西文雄	伊勢市教育委員会教育長	北村陽
鳥羽市教育委員会教育長	斎藤陽二	沼津市教育委員会教育長	服部裕美子
裾野市教育委員会教育長	風間忠純	三島市教育委員会教育長	西島玉枝
富山市教育委員会委員長	若林啓介	高岡市教育委員会教育長	氷見哲正
射水市教育委員会教育長	長井忍	金沢市教育委員会教育長	野口弘
鯖江市教育委員会教育長	辻川哲也	越前市教育委員会教育長	中島和則
神戸市教育委員会教育長	雪村新之助	津幡町教育委員会教育長	吉田克也
公益財団法人愛知県体育協会会長	大村秀章	公益財団法人岐阜県体育協会会長	小野木孝二
公益財団法人静岡県体育協会会長	川勝平太	公益財団法人富山県体育協会会長	石井隆一
公益財団法人石川県体育協会会長	谷本正憲	公益財団法人福井県体育協会会長	西川一誠
公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会理事長	西村幸久	公益財団法人豊田市体育協会会長	幸村的美
岐阜市体育協会会長	村瀬恒治	NPO法人沼津市体育協会会長	臼井勇二
NPO法人裾野市スポーツ協会会長	鈴木啓久	公益財団法人富山市体育協会会長	塩井保彦
公益財団法人高岡市体育協会会長	塩谷雄一	公益財団法人射水市体育協会会長	夏野元志
金沢市体育協会会長	米沢寛	一般社団法人鯖江市体育協会会長	橋本智之
公益社団法人越前市体育協会会長	美濃美雄	一般社団法人津幡町体育協会会長	塩谷優
一般財団法人愛知陸上競技協会会長	稲垣隆司	三重県バスケットボール協会会長	八木秀行
岐阜県バレーボール協会会長	武藤容治	三重県ソフトテニス連盟会長	井本泰三
石川県柔道連盟会長	西恒成	一般財団法人愛知県剣道連盟理事長	大嶽將文
一般財団法人愛知県剣道連盟会長	富田孝夫	一般財団法人静岡県サッカー協会会長	岡野光喜
兵庫ラグビーフットボール協会会長	田中康憲	石川県ハンドボール協会会長	中村和哉
岐阜県テニス協会会長	大友克之	富山県バドミントン協会会長	綿貫民輔
一般社団法人富山県水泳連盟会長	大塚重英	福井県高等学校野球連盟会長	福岡慎二
三重県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部会長	加藤幸弘	鈴鹿市ソフトテニス連盟会長	川喜田博行
豊田市卓球協会会長	竹内敏子	西三河剣道連盟会長	渡並直
豊田市剣道連盟会長	都築繁雄	高岡市バドミントン協会会長	佐武俊作
射水市バドミントン協会会長	姫野洋一	富山市水泳協会会長	大塚重英

参 与

小山工業高等専門学校長	大久保惠	高知工業高等専門学校長	濱中俊一
宇部工業高等専門学校校長	三谷知世	函館工業高等専門学校長	但野茂
八戸工業高等専門学校長	岡田益男	舞鶴工業高等専門学校長	齋藤福栄
呉工業高等専門学校長	森野教博	久留米工業高等専門学校長	三川譲二
群馬工業高等専門学校長	西尾典眞	松江工業高等専門学校長	井上明

実行委員会

実行委員長

豊田工業高等専門学校校長 高井 吉明

副委員長

富山高等専門学校校長	石 原 外 美	金沢工業高等専門学校校長	ルイス・パークスデール
石川工業高等専門学校校長	須 田 義 昭	福井工業高等専門学校校長	松 田 理
岐阜工業高等専門学校校長	伊 藤 義 人	沼津工業高等専門学校校長	藤 本 晶
鳥羽商船高等専門学校校長	新 田 保 次	鈴鹿工業高等専門学校校長	新 田 保 次
神戸市立工業高等専門学校校長	山 崎 聡 一	豊田工業高等専門学校教務主事	塚 本 武 彦
豊田工業高等専門学校学生主事	安 藤 浩 哉		

委 員

富山高等専門学校（本郷）学生主事	青 山 晶 子	富山高等専門学校（射水）学生主事	塚 田 章
金沢工業高等専門学校学生主事	瀧 本 明 弘	石川工業高等専門学校学生主事	川 原 繁 樹
福井工業高等専門学校学生主事	辻 子 裕 二	岐阜工業高等専門学校学生主事	久 保 田 圭 司
沼津工業高等専門学校学生主事	芳 野 恭 士	鳥羽商船高等専門学校学生主事	坂 牧 孝 規
鈴鹿工業高等専門学校学生主事	下 古 谷 博 司	神戸市立工業高等専門学校学生主事	寺 田 雅 裕
富山高等専門学校（本郷）体育主任	日 比 端 洋	富山高等専門学校（射水）体育主任	大 橋 千 里
金沢工業高等専門学校体育主任	瀧 本 明 弘	石川工業高等専門学校体育主任	北 田 耕 司
福井工業高等専門学校体育主任	島 田 茂	岐阜工業高等専門学校体育主任	山 本 浩 貴
沼津工業高等専門学校体育主任	渡 邊 志 保 美	鳥羽商船高等専門学校体育主任	山 田 英 生
鈴鹿工業高等専門学校体育主任	船 越 一 彦	神戸市立工業高等専門学校体育主任	小 森 田 敏
豊田工業高等専門学校体育主任	伊 藤 道 郎	富山高等専門学校事務部長	林 興 一
金沢工業高等専門学校事務局長	山 岸 徹	石川工業高等専門学校事務部長	村 松 薫
福井工業高等専門学校事務部長	木 村 義 徳	岐阜工業高等専門学校事務部長	澤 田 利 夫
沼津工業高等専門学校事務部長	大 山 正 人	鳥羽商船高等専門学校事務部長	菅 野 敬 也
鈴鹿工業高等専門学校事務部長	深 津 一 也	神戸市立工業高等専門学校事務室長	岸 田 正 則
豊田工業高等専門学校事務部長	佐 々 木 弘 司	富山高等専門学校（本郷）学務課長	石 田 芳 那
富山高等専門学校（射水）学生課長	山 田 豊	金沢工業高等専門学校事務局庶務課長	木 谷 理 恵
石川工業高等専門学校学生課長	岩 崎 紀 美 枝	福井工業高等専門学校学生課長	出 倉 義 昭
岐阜工業高等専門学校学生課長	山 口 敏 也	沼津工業高等専門学校学生課長	宇 野 裕 之
鳥羽商船高等専門学校学生課長	梅 村 智 文	鈴鹿工業高等専門学校学生課長	河 村 俊 男
豊田工業高等専門学校学生課長	三 浦 栄 一		

競 技 部

部 長 豊田工業高等専門学校体育主任	伊 藤 道 郎	副部長 富山高等専門学校（本郷）体育主任	日 比 端 洋
副部長 富山高等専門学校（射水）体育主任	大 橋 千 里	” 金沢工業高等専門学校体育主任	瀧 本 明 弘
” 石川工業高等専門学校体育主任	北 田 耕 司	” 福井工業高等専門学校体育主任	島 田 茂
” 岐阜工業高等専門学校体育主任	山 本 浩 貴	” 沼津工業高等専門学校体育主任	渡 邊 志 保 美
” 鳥羽商船高等専門学校体育主任	山 田 英 生	” 鈴鹿工業高等専門学校体育主任	船 越 一 彦
” 神戸市立工業高等専門学校体育主任	小 森 田 敏	” 金沢工業高等専門学校	山 口 真 史
委 員 富山高等専門学校（本郷）	仁 木 康 浩	” 福井工業高等専門学校	東 章 弘
” 石川工業高等専門学校	岩 竹 淳	” 岐阜工業高等専門学校	久 世 早 苗
” 福井工業高等専門学校	青 木 宏 樹	” 沼津工業高等専門学校	佐 藤 誠
” 岐阜工業高等専門学校	麻 草 淳	” 鳥羽商船高等専門学校	重 永 貴 博
” 沼津工業高等専門学校	黒 田 一 寿	” 神戸市立工業高等専門学校	中 川 一 穂
” 鈴鹿工業高等専門学校	宝 来 毅	” 豊田工業高等専門学校	高 津 浩 彰
” 神戸市立工業高等専門学校	春 名 桂		
” 豊田工業高等専門学校	加 藤 貴 英		

種目別競技委員

陸上競技

委員長	豊田工業高等専門学校	伊藤 道郎	委員	豊田工業高等専門学校		犬塚 勝美
委員	豊田工業高等専門学校	山本 貴正	委員	豊田工業高等専門学校		北野 孝志

バスケットボール

委員長	鳥羽商船高等専門学校校長	新田 保次	委員	東京都立産業技術高等専門学校		門多 嘉人
委員	鳥羽商船高等専門学校	江幸 重	委員	鳥羽商船高等専門学校		吉田 南穂
委員	鳥羽商船高等専門学校	三重野 雄太郎				

バレーボール

委員長	岐阜工業高等専門学校学生主事	久保田 圭司	委員	香川高等専門学校（高松）		中瀬 巳紀
委員	岐阜工業高等専門学校	永貴 博	委員	岐阜工業高等専門学校		和田 清
委員	岐阜工業高等専門学校	福井 輝彦	委員	岐阜工業高等専門学校		黒山 喬允

ソフトテニス

委員長	鈴鹿工業高等専門学校	宮田 剛	委員	鈴鹿工業高等専門学校		大貫 洋介
委員	鈴鹿工業高等専門学校	甲斐 穂高	委員	鈴鹿工業高等専門学校		岡 芳樹

卓球

競技専門部委員長	サレジオ工業高等専門学校	渡邊 聡	委員	豊田工業高等専門学校		山下 清吾
委員	豊田工業高等専門学校	伊東 賢二	委員	豊田工業高等専門学校		田中 貴幸
委員	豊田工業高等専門学校	藤原 賢二				

柔道

委員長	石川工業高等専門学校	畔田 博文	委員	石川工業高等専門学校		小村 良太郎
委員	石川工業高等専門学校	原田 敦史				

剣道

委員長	豊田工業高等専門学校	兼重 明宏	委員	豊田工業高等専門学校		西澤 一也
委員	豊田工業高等専門学校	大原 雄児	委員	豊田工業高等専門学校		河野 託也

硬式野球

委員長	福井工業高等専門学校	奥村 充司	委員	東京工業高等専門学校		鈴木 智之
委員	福井工業高等専門学校	辻野 和彦	委員	福井工業高等専門学校		青木 宏樹

サッカー

委員長	新居浜工業高等専門学校	安藤 進一	委員	徳山工業高等専門学校		藤田 重隆
委員	釧路工業高等専門学校	森秋 敏	委員	熊本工業高等専門学校（八代）		淵田 邦彦
委員	鈴鹿工業高等専門学校	長縄 一智	委員	沼津工業高等専門学校		望月 孔佳
委員	沼津工業高等専門学校	山崎 悟史	委員	沼津工業高等専門学校		駒 佳明

ラグビーフットボール

委員長	神戸市立工業高等専門学校	小森 田敏	委員	和歌山工業高等専門学校		森岡 隆
委員	近畿大学工業高等専門学校	五石 浩	委員	奈良工業高等専門学校		森 弘
委員	大阪府立大学工業高等専門学校	上村 匡敬				

ハンドボール

委員長	金沢工業高等専門学校学生主事	瀧本 明弘	委員	金沢工業高等専門学校体育教員		山口 真史
委員	金沢工業高等専門学校事務局	山岸 徹	委員	金沢工業高等専門学校事務局		紺谷 武史

テニス

委員長	岐阜工業高等専門学校教務主事	熊崎 裕教	委員	沼津工業高等専門学校		黒田 一寿
委員	岐阜工業高等専門学校	小林 健	委員	岐阜工業高等専門学校		坂部 和憲
委員	岐阜工業高等専門学校	小林 義光	委員	岐阜工業高等専門学校		高橋 憲吾

バドミントン

委員長	富山高専専門学校（射水）	山本 桂一郎	委員	久留米工業高等専門学校		龍頭 信二
委員	富山高専専門学校（射水）	新開 純子	委員	富山高専専門学校（射水）		阿蘇 二司

水泳

委員長	富山高専専学校長	石原 外美	委員	大阪府立大学工業高等専門学校		西間 高志
委員	富山高専専学校（本郷）	高廣 政彦	委員	富山高専専学校（本郷）		中 志淳
委員	富山高専専学校（本郷）	仁木 康浩				

第51回（平成28年度）全国高等専門学校体育大会実施要項

1. 開催趣旨

全国高等専門学校体育大会は、高等専門学校教育の一環として、学生に広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な学生を育成するとともに高専相互の親睦を図ることを目的として開催する。

2. 主 催

一般社団法人 全国高等専門学校連合会
公益財団法人 日本陸上競技連盟
公益財団法人 日本バスケットボール協会
公益財団法人 日本バレーボール協会
公益財団法人 日本サッカー協会
公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会
公益財団法人 日本ハンドボール協会
公益財団法人 日本テニス協会
公益財団法人 日本バドミントン協会

3. 主 管

全国高等専門学校体育大会陸上競技専門部、全国高等専門学校体育大会バスケットボール競技専門部、全国高等専門学校体育大会バレーボール競技専門部、全国高等専門学校体育大会ソフトテニス競技専門部、全国高等専門学校体育大会卓球競技専門部、全国高等専門学校体育大会柔道競技専門部、全国高等専門学校体育大会剣道競技専門部、全国高等専門学校体育大会野球競技専門部、全国高等専門学校体育大会サッカー競技専門部、全国高等専門学校体育大会ラグビーフットボール競技専門部、全国高等専門学校体育大会ハンドボール競技専門部、全国高等専門学校体育大会テニス競技専門部、全国高等専門学校体育大会バドミントン競技専門部、全国高等専門学校体育大会水泳競技専門部、全国高等専門学校サッカー連盟、全国高等専門学校ハンドボール連盟、関西ラグビーフットボール協会

一般財団法人愛知陸上競技協会、三重県バスケットボール協会、岐阜県バレーボール協会、岐阜県テニス協会、三重県ソフトテニス連盟、鈴鹿市ソフトテニス連盟、豊田市卓球協会、一般財団法人静岡県サッカー協会、兵庫県ラグビーフットボール協会、石川県ハンドボール協会、富山県バドミントン協会、富山県水泳連盟

4. 後 援

文部科学省

公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本ソフトテニス連盟、公益財団法人日本卓球協会、公益財団法人全日本柔道連盟、一般財団法人全日本剣道連盟、公益財団法人日本水泳連盟

愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、富山県、石川県、福井県

愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、三重県教育委員会、静岡県教育委員会、石川県教育委員会、福井県教育委員会、兵庫県教育委員会

名古屋市、豊田市、岐阜市、鈴鹿市、四日市市、伊勢市、鳥羽市、沼津市、裾野市、三島市、富山市、高岡市、射水市、金沢市、鯖江市、越前市、津幡町

豊田市教育委員会、岐阜市教育委員会、鈴鹿市教育委員会、四日市市教育委員会、伊勢市教育委員会、鳥羽市教育委員会、沼津市教育委員会、裾野市教育委員会、三島市教育委員会、富山市教育委員会、高岡市教育委員会、射水市教育委員会、金沢市教育委員会、鯖江市教育委員会、越前市教育委員会、神戸市教育委員会、津幡町教育委員会

公益財団法人愛知県体育協会，公益財団法人岐阜県体育協会，公益財団法人三重県体育協会，公益財団法人静岡県体育協会，公益財団法人富山県体育協会，公益財団法人石川県体育協会，公益財団法人福井県体育協会，三重県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部，愛知県卓球協会，石川県柔道連盟，一般財団法人愛知県剣道連盟，西三河剣道連盟，福井県高等学校野球連盟

公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会，公益財団法人豊田市体育協会，岐阜市体育協会，一般財団法人鈴鹿市体育協会，NPO法人四日市市体育協会，NPO法人沼津市体育協会，NPO法人裾野市スポーツ協会，公益財団法人富山市体育協会，公益財団法人高岡市体育協会，公益財団法人射水市体育協会，金沢市体育協会，一般社団法人鯖江市体育協会，公益財団法人越前市体育協会，一般社団法人津幡町体育協会
豊田市剣道連盟，高岡市バドミントン協会，射水市バドミントン協会，富山市水泳協会

朝日新聞社，毎日新聞社，読売新聞社，産業経済新聞社，日本経済新聞社，日刊工業新聞社，(株)共同通信社，文教ニュース社，NHK，中日新聞社，北國新聞社

5. 担当地区 東海北陸地区

6. 担当校 豊田工業高等専門学校

7. 開催校

富山高等専門学校，石川工業高等専門学校，福井工業高等専門学校，岐阜工業高等専門学校，沼津工業高等専門学校，豊田工業高等専門学校，鳥羽商船高等専門学校，鈴鹿工業高等専門学校，金沢工業高等専門学校，神戸市立工業高等専門学校

8. 大会期日

平成28年8月17日（水）～9月4日（日）

平成29年1月4日（水）～9日（月）

（冬季は，ラグビーフットボール競技のみ）

9. 競技種目・競技日程・競技開催校・競技会場 一覧表のとおり

10. 事務局

第51回全国高等専門学校体育大会事務局を，豊田工業高等専門学校内に置く。
各種目ごとの事務局は該当競技開催校に置く。

11. 競技方法 各種目別競技実施要項による。

12. 参加資格及び参加人数

全国高等専門学校体育大会実施規則（制定 平成24年6月15日）及び各種目別競技実施要項による。

13. 表彰

全国高等専門学校体育大会実施規則（制定 平成24年6月15日）及び各種目別競技実施要項による。

14. 参加申込方法 各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。

15. 競技の組合せ 各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。

16. 選手の変更 各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。

17. 開会式及び閉会式

- (1) 総合開会式は実施しない。
- (2) 種目別開会式及び閉会式については、各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。

18. 打合せのための時間

各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。

19. 分担金及び参加料

(1) 分担金

分担金は、1キャンパス当たり175,000円とし、別途、一般社団法人全国高等専門学校連合会事務局から請求書が送付されるので、それにより一般社団法人全国高等専門学校連合会事務局に納付する。

(2) 参加料

- ア. 団体戦は、各種目別競技実施要項記載の金額とする。1チーム当たりの金額は、「1,800円×最大登録選手数」により積算する。(ただし、ラグビーフットボールは、1チーム当たり33,250円とする。)
- イ. 個人戦は、選手1人当たり1,800円とする。
- ウ. 団体戦に参加した選手が個人戦に参加する場合は、重複して参加料を徴収しない。
- エ. 納付は、各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。なお、既納の参加料は返還しない。

20. 宿 舎 宿舎の斡旋を希望する学校には、競技開催校で斡旋する。

21. 個人情報の取扱い

- (1) 競技結果について、個人名などをホームページ、報道等に公表して欲しくない者は、学校を通して競技開催校事務局に申し出てください。事前に申し出のない場合は、公表します。
- (2) 「独立行政法人等の保有する個人情報保護に関する法律」に基づき、大会参加申込書等により取得した個人情報は、大会運営、結果公表等の目的以外には使用いたしません。

22. その他

- (1) 選手の競技中の事故については、主催者側で応急処置を施すが、その後の処置は当該校で行うこと。
- (2) 選手は、必ず健康保険証又はそれに代わるものを持参すること。
- (3) 独立行政法人日本スポーツ振興センター所定の用紙を各学校で持参すること。

第 5 1 回 全 国 高 等 専 門 学 校 体 育 大 会
競 技 種 目 ・ 競 技 日 程 ・ 開 催 校 ・ 競 技 会 場 一 覧 表

担当校：豊田工業高等専門学校

競技種目		競技日程	開催校	競技会場
陸上競技		平成28年 8月24日(水)～25日(木) 予備日：8月26日(金)	豊田工業高等専門学校	パロマ瑞穂スタジアム (名古屋市瑞穂公園陸上競技場)
バスケットボール	男子	平成28年 9月3日(土)～4日(日)	鳥羽商船高等専門学校	三重交通グループ スポーツの杜 伊勢 (三重県営総合競技場)
	女子	平成28年 9月3日(土)～4日(日)	鳥羽商船高等専門学校	三重交通グループ スポーツの杜 伊勢 (三重県営総合競技場)
バレーボール	男子	平成28年 8月20日(土)～21日(日)	岐阜工業高等専門学校	岐阜メモリアルセンター で愛ドーム・ふれ愛ドーム
	女子	平成28年 8月20日(土)～21日(日)	岐阜工業高等専門学校	岐阜メモリアルセンター で愛ドーム・ふれ愛ドーム
ソフトテニス		平成28年 8月18日(木)～19日(金)	鈴鹿工業高等専門学校	四日市ドーム
卓 球		平成28年 8月20日(土)～21日(日)	豊田工業高等専門学校	スカイホール豊田 メインホール (豊田市総合体育館)
柔 道		平成28年 8月27日(土)～28日(日)	石川工業高等専門学校	石川県立武道館
剣 道		平成28年 8月27日(土)～28日(日)	豊田工業高等専門学校	スカイホール豊田 サブホール (豊田市総合体育館)
硬式野球		平成28年 8月27日(土)～28日(日)	福井工業高等専門学校	A会場：丹南総合公園野球場 B会場：鯖江市西山公園野球場
サッカー		平成28年 8月20日(土)・21日(日) ・23日(火)・24日(水) (4日間)	沼津工業高等専門学校	A会場：愛鷹広域公園 多目的競技場・スポーツ広場 B会場：裾野市運動公園 陸上競技場
ラグビーフットボール		平成29年 1月4日(水)・5日(木) ・7日(土)・9日(月) (4日間)	神戸市立工業高等専門学校	神戸総合運動公園ユニバー記念競技場
ハンドボール		平成28年 8月17日(水)～18日(木)	金沢工業高等専門学校	いしかわ総合スポーツセンター
テニス		平成28年 8月25日(木)～27日(土)	岐阜工業高等専門学校	岐阜メモリアルセンター 長良川テニスプラザ
バドミントン		平成28年 8月20日(土)～21日(日)	富山高等専門学校 (射水キャンパス)	高岡市民体育館
水 泳		平成28年 8月21日(日)	富山高等専門学校 (本郷キャンパス)	富山総合体育センタープール (屋内・長水路)

硬式野球競技



歓迎のご挨拶



福井工業高等専門学校
校長 松田 理

第 51 回全国高等専門学校体育大会に出場される皆様、誠におめでとうございます。そして、野球競技におきましては、国公立 57 高専 61 キャンパスを 9 つの地区に分け、それぞれの地区予選を勝ち抜いた精鋭 10 チームの皆様をこの福井の地にお迎えできますこと、誠に嬉しく、心から歓迎するところであります。

高専体育大会は言うまでもなく、高専教育の一環として、競技技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な学生を育成し、同時に高専相互の親睦を図ることを目的としています。そして、野球競技においてもそのような共通認識のもと、今大会で 43 回を重ねることとなり、これまでの関係者の熱意と努力に深甚なる敬意と感謝を表する次第です。

我国の社会情勢が変化し、国際社会も複雑化して行く中で、将来の技術立国日本を担う人材を育成するという高専の使命と責任は、いささかも揺るぐことはないと考えます。従って、この高専大会も、人を育て、その有為な人材を社会に送り出す高専の誇るべき行事として、今後も継続して行かねばならないものであります。近頃のスポーツ界において、技を極めた選手たちのコンプライアンスの欠如や反社会的行動など、残念なニュースが聞かれますが、この野球競技はもちろんのこと、高専大会のすべての競技は、高専教育の生命線である人間教育にとって非常に重要な行事として位置づけられ、大切にしなければならないものと考えます。

さて、今回の全国大会のポスターには「その努力が実る場所」と書かれており、野球競技においても、選手の皆様のこれまでの努力が実るよう、日ごろの練習の成果を十分に発揮し、地区代表として正々堂々と戦ってもらいたいと思います。そして、試合が終われば勝敗に関係なく、同じ高専生として、互いの健闘を称えあうことを願っております。

出場する選手だけでなく、応援する人、観戦する人など、様々な立場からお互いに野球競技の感動を伝えあい、今大会を盛り上げ、皆さんの心にいつまでも残るものとなれば、主管校としてこの上ない喜びであります。

結びに、今大会の開催に当たり、多大のご支援とご助力を賜りました文部科学省、日本体育協会、福井県、福井県教育委員会、福井県体育協会、福井県高等学校野球連盟及び鯖江市、越前市の関係諸団体並びに関係各位に心より御礼申し上げますとともに、今大会が無事終了できますことを祈念致します。

第51回 全国高等専門学校体育大会

第43回 全国高等専門学校体育大会野球競技実施要項

1. 主催 一般社団法人全国高等専門学校連合会
2. 主管 全国高等専門学校体育大会野球競技専門部
福井工業高等専門学校
3. 後援 文部科学省、公益財団法人日本体育協会、福井県、福井県教育委員会、
公益財団法人福井県体育協会、越前市、越前市教育委員会、
公益社団法人越前市体育協会、鯖江市、鯖江市教育委員会、
一般社団法人鯖江市体育協会、福井県高等学校野球連盟
4. 大会期日 平成28年8月27日（土）～28日（日）
（雨天の場合は8月29日（月）まで延長、29日雨天の場合は中止）
5. 大会会場 A会場 丹南総合公園野球場
〒915-0891 福井県越前市余田町50-4-1
TEL 0778-42-6780
B会場 鯖江市西山公園野球場
（練習会場）〒916-0041 福井県鯖江市水落町1丁目7
TEL 0778-51-3176
6. 参加資格 (1) 高等専門学校の学生で学校長が参加を認めたもの(性別を問わない)。
(2) 各都道府県高等学校野球連盟に加盟している学校については、高野連
参加者資格規定「高等専門学校野球部の取扱いについて」の細則に従い、
所定の手続を完了したものに限る。
7. 参加校 各地区から選出する代表校は、次の10校とする。
北海道地区 1校 東北地区 1校 関東信越地区 1校
東海北陸地区 2校 近畿地区 1校 中国地区 1校
四国地区 1校 九州沖縄地区 1校 開催校 1校

- 8. 競技規則** 2016年公認野球規則及び本大会競技規則細則による。また、アマチュア野球内規、高校野球特別規則に準ずる。
ただし、下記については、競技規則不適用事項とする。
(1) 投手が同一イニングに投手以外の守備位置に2度以上つくこと。
(2) 変則ダブルヘッダーの場合、投手が登板出来るイニングは両試合を通じて合計15イニング以内とすること。
- 9. 競技方法**
(1) トーナメント方式とし、3位決定戦は行わず2チームを3位とする。
(2) 降雨、日没、その他の理由による試合続行の可否は、競技委員及び審判員の協議により決定する。
(3) 降雨、暗黒、その他競技の続行が不可能な理由により審判員が試合の打ち切りを命じた場合は、両チーム共に7回の攻撃を均等に完了するか、或いは、先攻チームが7回を終った得点より、後攻チームの6回までの得点が多い場合はコールドゲームを適用し、それ以前の試合は再試合とする。
(4) 決勝戦以外は、7回以降7点差以上の場合コールドゲームとする。
(5) 9回終了時に同点の場合、10回からタイブレークを開始する。無死、走者1、2塁の状態から行うものとする。延長戦は12回までとし、それでも勝敗が決しない場合は、抽選により決定する。ただし、決勝戦は原則としてタイブレーク制度は適用せず15回までとし、なお勝敗が決しない場合には、両チーム1位とする。
- 10. チーム人員** 部長、監督、選手18名、記録員(マネージャー)1名の21名以内とする。
- 11. 参加申込**
(1) 申込期限 平成28年8月1日(月) 必着
(2) 申込先 福井工業高等専門学校学生課学生生活係
第43回全国高等専門学校体育大会野球競技事務局
〒916-8507 福井県鯖江市下司町
TEL 0778-62-8210 FAX 0778-62-2490
Email:gakusei@fukui-nct.ac.jp
(3) 申込方法 各地区の担当校が別途定める参加申込書で申し込むこと。
- 12. 参加料及び納入方法**
1チーム32,400円とする。参加料は参加申込と同時に、次の振込口座へ納入すること。なお、既納の参加料は返還しない。
【振込口座】
金融機関名 福井銀行 鯖江支店
預金種目 普通預金
口座番号 6029883
口座名義 全国高専体育大会野球競技事務局
福井工業高等専門学校 学生課長 出倉 義昭
- 13. 表彰**
(1) 優勝校には、賞状、優勝旗、入賞メダル及び文部科学大臣杯を授与し2・3位の入賞校には賞状及び入賞メダルを授与する。
(2) 文部科学大臣杯及び優勝旗は持ち回りとする。
(3) 前年度優勝校には、文部科学大臣杯受賞章を授与する。

- 14. 代表者会議** (1) 日 時 平成28年8月26日(金) 9:30～
(2) 場 所 丹南総合公園野球場会議室
(3) 出席者 監督及び主将
- 15. 組合せ抽選** 平成28年8月5日(金)
野球競技開催校において行い、その結果を直ちに各参加校に通知する。
なお、同一地区の代表校の1位と2位は決勝戦まで対戦しないようにする。
- 16. 開・閉会式** (1) 開会式 平成28年8月26日(金) 10:30～
丹南総合公園野球場
雨天時：中止
(2) 閉会式 平成28年8月28日(日) 競技終了後
丹南総合公園野球場
- 17. 宿 舎** 別途通知し、斡旋する。
- 18. その他** (1) 1回戦2試合については、8月26日(金)の練習日に実施する。
(2) 1回戦出場の4チームについては、希望があれば8月25日(木)に
球場練習が可能である。
(3) 宿泊・弁当の斡旋及び大会前の練習会場割り当てについては、別途通
知する。
(4) 試合中の負傷については各会場で応急処置をするが、その後の処置は
各学校及び各自で行い、健康保険証等は各自で用意しておくこと。
(5) 独立行政法人日本スポーツ振興センター所定の用紙を各学校で持参す
ること。
(6) 試合球は、ミズノ社製(ビクトリー)とする。
(7) 大会出場者でホームページや報道等に個人名を公表して欲しくない者
は、学校を通して大会事務局(gakusei@fukui-net.ac.jp)に申し出るこ
と。事前に申し出のない場合は、公表することとする。

大会競技規則細則

1. 出場チームは、試合開始予定時刻1時間前には球場に到着のこと。到着したチームの責任者（部長あるいは代理の教職員）は、その旨を大会本部に届け出ること。
2. チームは、登録した顧問教員（部長）引率のもとに球場に入場しなければならない。部長不在のチームの試合は認めない。但し、部長の代理の教職員があつて、それを届け出たときはその限りではない。監督と選手の兼任は認められる。
3. 第一試合の場合は開始30分前、その他の試合は前試合の5回終了後、部長と主将はメンバー表5通を大会本部に提出し、攻守を決めること。メンバー表には選手氏名、背番号、学年および守備位置を記載すること。
4. ベンチ入りする人員は、部長、監督、選手18名、記録員（マネージャー）1名の計21名以内とする。登録選手の変更は、代表者会議開催前までとする。但し、背番号のみの変更は認めない。また、登録された部長、監督、記録員（マネージャー）の変更は、球場到着時に大会本部に届け出れば認められる。
5. ベンチサイドは、抽選番号の若い方を一塁側とする。
6. シートノックは、原則として7分間とする。ノッカーも自校のユニフォームを着用すること。また、天候、試合進行の遅延等で競技役員・審判員が不必要と判断した場合には、シートノックは行わないことがある。
7. 試合前練習は、指定された場所で行うこと。但し、第一試合のチームは球場内で行ってもよい。投手の投球練習は、前試合7回終了後、試合中の部長の了解を得て、球場内ブルペンで行うことができる。
8. 審判のジャッジには、絶対に抗議することはできない。
9. 審判に対する申し出は、主将および当該選手に限る。
10. 試合中、打者、走者及びランナーコーチは必ず両耳付きヘルメットを着用すること。
11. 試合中、攻守の交代は迅速に行うこと。試合進行上、審判員が必要と判断した場合には、ボール回しを禁止することがある。
12. 上着とズボンの色合いが異なる（ツートンカラー）ユニフォームの使用を認める。その他のスタイルは高校野球で認められているものに限る。
13. 監督は自校のユニフォームを着用すること。部長も希望するときは着用してよい。
14. 選手は登録通りに背番号を付けること。また、背番号は1番から29番までとし、主将は10番とする。
15. 試合中、選手の不慮の事故等により、一時走者を代えないと試合が続行できないと審判が認めたときは、臨時的代走者を出してよい。
16. 試合前、試合中にかかわらず、投球練習中は危険防止のため、捕手は捕手用具（ヘルメット、マスク、レガース、プロテクタ、急所カップ）を装着すること。
17. ヘルメット、バット、捕手用具の点検は、審判員が試合前に行う。
18. 手袋（色彩の制限はない）、リストバンド、レッグガードおよびエルボガードの使用を認める。

競 技 役 員

総務委員長 阿 部 孝 弘

総務副委員長 辻 子 裕 二

総務委員 島 田 茂

競技委員長 奥 村 充 司

競技委員 鈴木 智 之 (東京工業高等専門学校)

辻 野 和 彦

青 木 宏 樹

審判部長 向 村 英 博

審判委員 福井県野球連盟 審判部

競技補助員 福井工業高等専門学校 硬式野球部

会議・式典について

【代表者会議】

日時：平成28年8月26日（金）9：30～

場所：丹南総合公園野球場 会議室

出席者：各校の監督（又は部長）及び主将

- 次第：
- 1 開催校代表挨拶
 - 2 出席者自己紹介
 - 3 議事
 - 4 審判長注意
 - 5 その他

【開会式】

日時：平成28年8月26日（金）10：30～

場所：丹南総合公園野球場

- 式次第：
- 1 開式通告
 - 2 開会宣言
 - 3 国旗掲揚
 - 4 文部科学大臣杯返還並びにレプリカ授与
 - 5 開催校代表挨拶
 - 6 来賓挨拶
 - 7 選手宣誓
 - 8 審判長注意
 - 9 閉式通告

【閉会式】

日時：平成28年8月28日（日）競技終了後

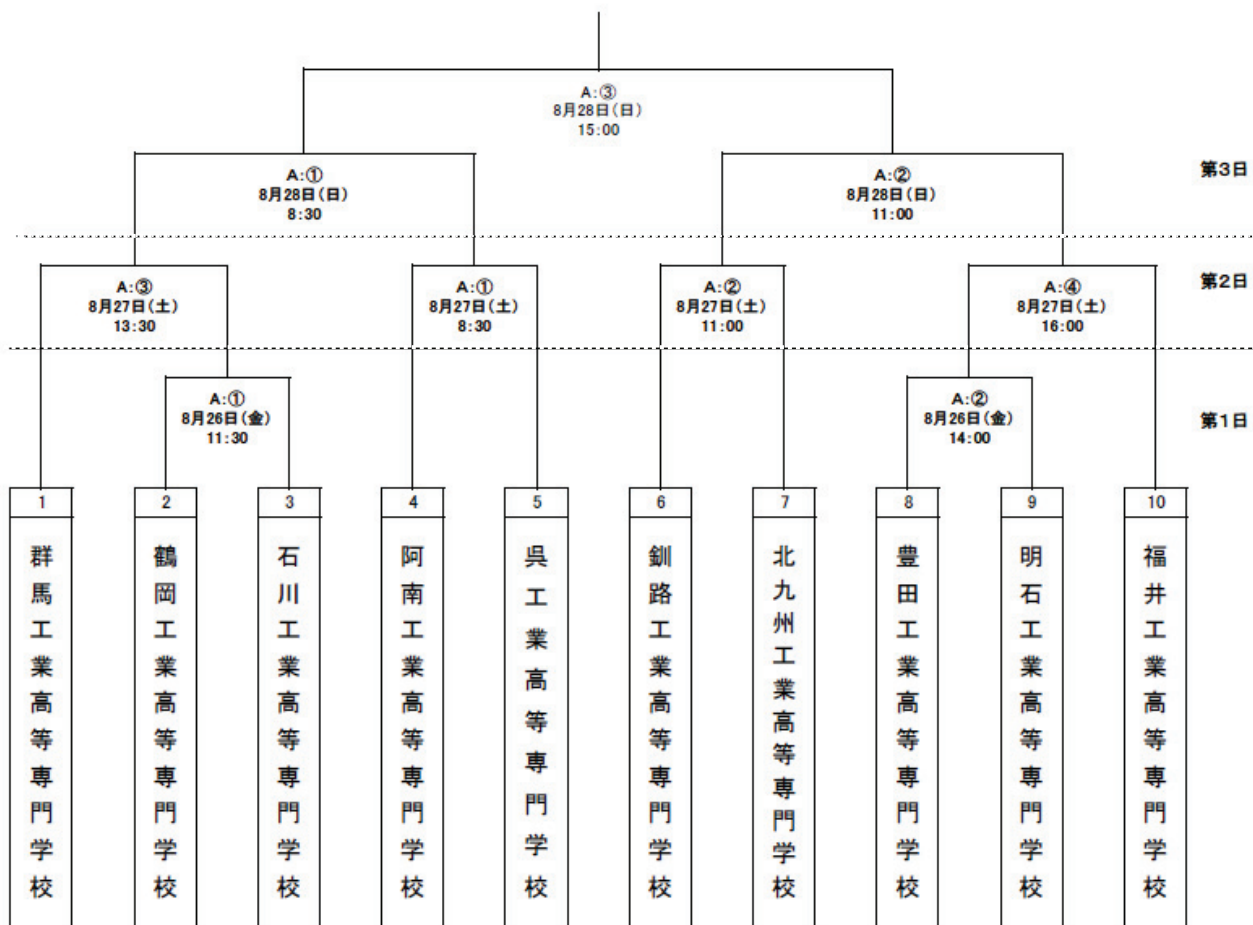
場所：丹南総合公園野球場

参加校：優勝校・準優勝校

- 式次第：
- 1 開式通告
 - 2 成績発表
 - 3 表彰
 - 4 メダル授与
 - 5 開催校代表挨拶
 - 6 国旗降納
 - 7 閉会宣言
 - 8 閉式通告

第 43 回 全国高等専門学校体育大会（硬式野球競技） 組合せ表

A：丹南総合公園野球場
B：西山公園野球場



チーム紹介・登録選手一覧

● 北海道地区：釧路工業高等専門学校



今年は、2年前に全国大会に出場した時よりも打力のあるチームで、17人の選手うち7人が本塁打を打てる打力や、走力のある選手など個性あふれるチームで、どこよりも野球を楽しみ甲子園よりも熱い戦いをします。

地区	北海道地区	
学校	釧路工業高等専門学校	
部長	千葉 忠 弘	
監督	赤 堀 匡 俊	
記録員	浅 井 滯	
背番号	選手氏名	学年
1	今 田 将 斗	4
2	残 間 優 斗	3
3	林 響 太	4
4	吉 田 祥 太 朗	4
5	瀧 澤 飛 雄 馬	4
6	西 川 耕 平	3
7	太 田 涉	4
8	今 田 唯 斗	5
9	田 村 蒼 一 朗	5
10	福 井 聡	5
11	佐 々 木 僚 一	4
12	武 隈 弘 典	3
13	柳 宏 弥	3
14	池 田 有 汰	3
15	川 口 海	3
16	浜 本 瑞 生	3
17	井 田 健 太 郎	3
18		

● 東北地区：鶴岡工業高等専門学校

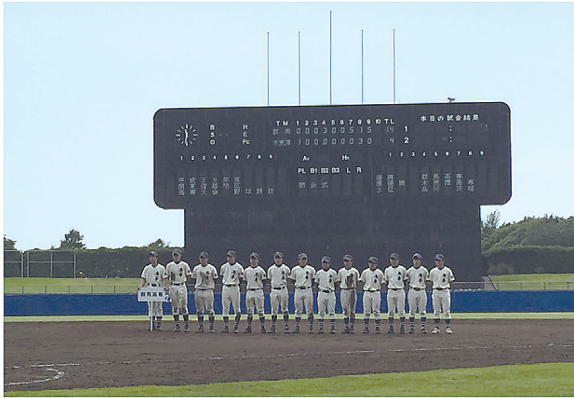


抜け目の無い守備陣と、いかなる打順からでもチャンスをつくり出せる打線が武器です。試合での勝利を重ねる度、チームの一体感が強くなっています。逆境においても自分達の野球を忘れずに勝利を掴み取ります。

地区	東北地区	
学校	鶴岡工業高等専門学校	
部長	松 浦 由 美 子	
監督	小 野 寺 良 二	
記録員	中 村 佳 子	
背番号	選手氏名	学年
18	阿 部 紘 典	5
4	金 澤 大 紀	5
14	佐 藤 魁	5
5	東 海 林 朋 大	5
25	小 寺 雄 貴	5
6	後 藤 大 地	5
17	田 澤 隼 人	5
12	富 樫 鎌 士	5
1	遠 藤 俊 平	5
10	上 林 翔 人	5
26	五十嵐 亮	4
3	小 野 友 大	4
27	小 野 塚 大 智	4
29	庄 司 祐 樹	4
20	菅 原 陸	4
15	五十嵐 優 斗	4
24	小 野 拓 磨	4
2	渡 会 祐 馬	4

チーム紹介・登録選手一覧

● 関東信越地区：群馬工業高等専門学校



関東信越地区大会優勝回数21回、3年連続の全国大会出場となります。守備は3年生が加わったことで隙が無くなりました。打撃はパワーヒッターはいませんが、ミート中心の打撃でコツコツ点を取っていきます。3度目の全国制覇を目指して頑張ります。

地区	関東信越地区	
学校	群馬工業高等専門学校	
部長	櫻岡 広	
監督	桜井 陸	
記録員	篠原 瞳	
背番号	選手氏名	学年
2	松田 朋大	4
3	青木 健	5
4	相田 天	3
5	高橋 佑太朗	3
6	南方 啓貴	5
7	見附 祐希	5
8	町田 樹	4
9	井岡 龍星	3
10	竹渕 優馬	5
11	星野 颯太	3
12	桜井 陸	5
13	田辺 啓輔	3
14	石原 静流	4
15	松下 真人	5
16	安部 友裕	5
17	大谷内 正輝	5
18	長谷部 蒼	3

● 東海北陸地区：豊田工業高等専門学校



日々の練習から明るく元気に、意識を高く持って取り組んで来ました。1番から9番まで切れ目のない打線が特徴で、東海地区予選では全試合で二桁安打を記録しました。豊田高専の超攻撃的野球で優勝を目指します！

地区	東海北陸地区	
学校	豊田工業高等専門学校	
部長	鬼頭 俊介	
監督	森上 伸也	
記録員	林島 風香	
背番号	選手氏名	学年
10	山本 智久	5
1	城庵 文哉	5
2	鈴木 領馬	5
9	松坂 吏規	5
11	安藤 竜之介	4
12	毛利 拓海	4
4	富村 太一	5
13	後藤 修平	4
3	恩田 拓	4
14	三並 航	4
18	山口 絢太郎	4
15	鈴木 瑛士	4
6	徳原 峻人	4
19	成瀬 将司	4
7	平松 航介	4
16	阪井 拓	3
5	桜井 大夢	3
8	名嘉真 龍一	3

チーム紹介・登録選手一覧

● 東海北陸地区：石川工業高等専門学校



今年のチームは投手を中心とした鉄壁の守備と爆発力のある打撃が売りのチームです。地方大会MVPのエース前を筆頭にして個々の能力の高い選手が集まった代となりました。地の利を生かして優勝を狙います。

地区	東海北陸地区	
学校	石川工業高等専門学校	
部長	小林 隆	
監督	有馬 佳宏	
記録員	吉田 大起	
背番号	選手氏名	学年
13	井 茂 琢 磨	5
4	大 橋 凌	5
25	折 戸 功 平	5
11	浦 島 大 輔	5
10	北 村 悠 人	5
18	本 多 健 也	5
5	山 田 拓 弥	5
8	川 口 勇 作	5
22	杉 原 季 弥 登	5
2	尾 田 大 地	5
3	主 税 春 来	4
16	前 健 将	4
28	稲 場 光 太 朗	4
17	大 島 友 陽	4
12	木 谷 涼 太	4
1	知 田 翔	4
20	道 端 誠	4
21	細 川 知 揮	4

● 近畿地区：明石工業高等専門学校



明石高専はスモールベースボールの精神を基に、確実に1点を取りに行く野球を目指して練習してきました。全国大会では守りから流れを作り、接戦を勝ち切って全国に明石高専旋風を巻き起こしたいと思います。

地区	近畿地区	
学校	明石工業高等専門学校	
部長	石丸 和宏	
監督	後藤 太之	
記録員		
背番号	選手氏名	学年
5	重 松 奨 太	5
11	青 柳 洋 人	5
3	福 永 将 也	5
6	藤 本 乃 哉	5
21	松 下 和 磨	5
2	三 枝 亮 太	5
15	園 部 太 貴	4
22	川 原 知 也	4
23	穴 田 祐 一 朗	4
1	角 野 光	4
8	神 林 賢	4
24	市 原 弾	4
10	楫 田 直 也	4
27	山 本 遼 太	4

チーム紹介・登録選手一覧

● 中国地区：呉工業高等専門学校



主将をはじめチーム全員が自分の役割を理解し、実行する事で地方大会を勝ち進む事が出来ました。全国大会でも自らの役割を全力で実行し、悔いの残らないように頑張ります！

地区	中国地区		
学校	呉工業高等専門学校		
部長	外谷 昭洋		
監督	上寺 哲也		
記録員	宮澤 香穂		
背番号	選手氏名	学年	
7	枝 廣 勇 樹	5	
9	佐 野 智 哉	5	
18	秦 拓 馬	5	
13	若 宮 大 輔	5	
2	大 森 昂	5	
27	永 井 元	5	
28	柳 沢 崇 晴	4	
5	山 本 直 希	5	
20	渡 邊 優 樹	5	
23	田 坂 駿 治	5	
22	佐 村 昂 太	4	
4	浅 野 快 慧	4	
14	北 岡 世 伍	4	
21	近 藤 有 希	4	
12	荒 谷 元 暉	3	
24	松 尾 幸 輝	3	
17	渡 邊 芳 樹	3	
16	中 村 真 大	3	

● 四国地区：阿南工業高等専門学校



私たちは長い練習時間が確保できないため、ポイントを絞った練習をしてきました。その成果が四国大会での優勝につながったと考えています。全国大会でも「勝つ」ために、やるべきことをしっかりとこなします！

地区	四国地区		
学校	阿南工業高等専門学校		
部長	中 島 一		
監督	大 谷 卓		
記録員	高 橋 里 帆		
背番号	選手氏名	学年	
9	島 川 大 生	5	
6	山 川 進 一 郎	5	
3	大 喜 田 雅 之	5	
11	中 野 裕 貴	5	
19	井 上 雅 都	5	
7	原 田 慎 太 郎	4	
18	清 水 祐 弥	4	
1	勝 島 慧 太	4	
4	大 和 想	4	
5	横 田 大 地	4	
2	芳 野 弘 基	4	
21	粟 飯 原 大 輝	3	
23	川 下 大 成	3	
26	北 島 大 那	3	
14	上 原 大 司	3	
10	豊 田 祥 基	3	
25	李 保 雄 大	3	

チーム紹介・登録選手一覧

● 九州沖縄地区：北九州工業高等専門学校



九州沖縄地区代表の北九州高専です。昨年度に引き続き2連覇することができました。熊本大分地震により被災した高専の分も、野球をできることに感謝しながらプレーしたいです。今年こそは全国制覇を目指します！

地区	九州沖縄地区		
学校	北九州工業高等専門学校		
部長	荒川 裕紀		
監督	松崎 拓也		
記録員	門宮 美悠		
背番号	選手氏名	学年	
1	栗林 遼	5	
2	永松 寛之	4	
3	桑野 晴信	5	
4	岩本 拓真	5	
5	中野 康平	4	
6	原田 大樹	5	
7	土屋 光輝	5	
8	工藤 光平	3	
9	富安 剛	4	
10	山田 英雄	5	
11	岩村 卓八	5	
12	門田 翔也	4	
13	原田 雄大	3	
14	大藪 駿	4	
15	権田 将之	2	
16	西山 厚志	3	
17	安永 紘輔	3	
18	原口 秀也	3	

● 開催校：福井工業高等専門学校



今年のチームの持ち味はチームワークです。上下関係なくコミュニケーションが取れ、部員全員がのびのびプレーできます。大会では、1戦1戦全力で最後まで諦めず、笑顔で野球を楽しみたいと思います。

地区	開催校（東海北陸地区）		
学校	福井工業高等専門学校		
部長	奥村 充司		
監督	辻野 和彦		
記録員	宮川 彩		
背番号	選手氏名	学年	
1	前田 崇貴	4	
2	長谷川 陽紀	3	
3	濱川 卓	5	
4	竹島 僚汰朗	5	
6	藤野 丈	5	
7	濱本 蒼汰	3	
8	三宅 武将	4	
9	宇野 喬人	4	
10	嘉満 亮太郎	5	
13	北藤 雄飛	3	
16	坂永 城麻	5	
17	松本 大輝	3	
18	井波 航大	4	
21	島内 亨	4	
22	野崎 裕也	3	
24	小藤 大貴	5	
28	東 大貴	5	
29	三反崎 港人	5	

年次別大会成績一覽

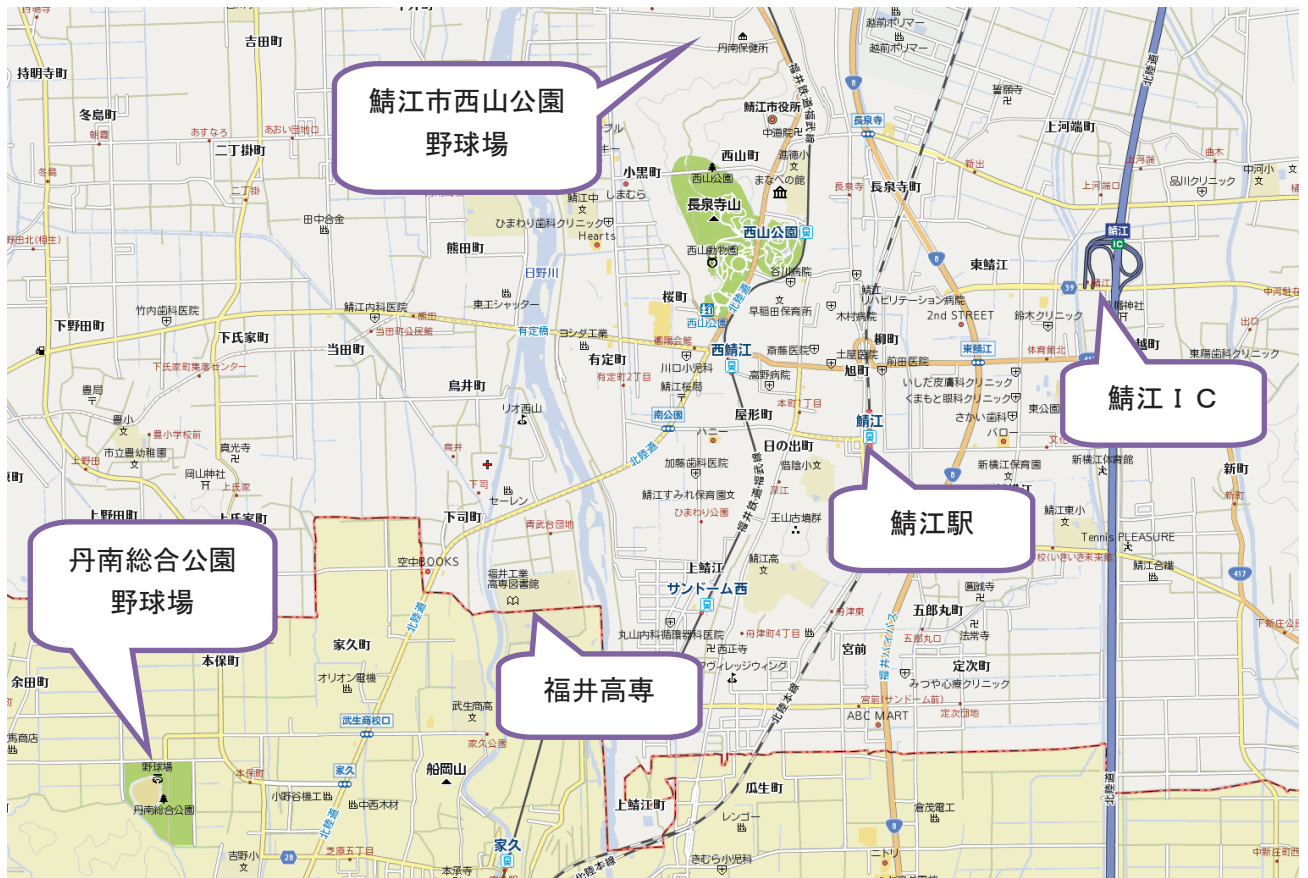
回 年次	成績	学校名	主管校 (開催校)
第1回 S49年	1位	津山	福井 (大阪府立)
	2位	大分	
	3位	神戸市立	
第2回 S50年	1位	岐阜	明石 (神戸市立)
	2位	佐世保	
	3位	津山・旭川	
第3回 S51年	1位	佐世保	長岡 (長岡)
	2位	奈良	
	3位	鳥羽商船・石川	
第4回 S52年	1位	弓削商船	福島 (福島)
	2位	石川	
	3位	大阪府立	
第5回 S53年	1位	大分	岐阜 (金沢)
	2位	詫間電波	
	3位	広島商船	
第6回 S54年	1位	阿南	奈良 (和歌山)
	2位	鹿児島	
	3位	明石	
第7回 S55年	1位	阿南	長野 (長野)
	2位	富山	
	3位	有明	
第8回 S56年	1位	福島	呉 (呉)
	2位	阿南	
	3位	明石	
第9回 S57年	1位	大分	仙台電波 (一関)
	2位	岐阜	
	3位	阿南	
第10回 S58年	1位	福島	富山 (富山商船)
	2位	大阪府立	
	3位	豊田	
第11回 S59年	1位	佐世保	和歌山 (奈良)
	2位	福島	
	3位	宇部	
第12回 S60年	1位	北九州	茨城 (木更津)
	2位	函館	
	3位	宇部	
第13回 S61年	1位	久留米	宇部 (徳山)
	2位	米子	
	3位	徳山	
第14回 S62年	1位	大分	秋田 (秋田)
	2位	神戸市立	
	3位	福島	
第15回 S63年	1位	大分	久留米 (有明)
	2位	和歌山	
	3位	高知	

回 年次	成績	学校名	主管校 (開催校)
第16回 H元年	1位	宮城	鳥羽商船 (鳥羽商船)
	2位	群馬	
	3位	久留米	
第17回 H2年	1位	富山	苫小牧 (旭川)
	2位	都城	
	3位	呉・八戸	
第18回 H3年	1位	富山	高松 (高松)
	2位	熊本電波	
	3位	東京	
第19回 H4年	1位	東京	東京 (東京)
	2位	大分	
	3位	和歌山	
第20回 H5年	1位	徳山	松江 (米子)
	2位	函館	
	3位	米子	
第21回 H6年	1位	奈良	鶴岡 (八戸)
	2位	大分	
	3位	松江	
第22回 H7年	1位	大分	神戸市立 (和歌山)
	2位	八戸	
	3位	詫間電波	
第23回 H8年	1位	和歌山	熊本電波 (熊本電波)
	2位	北九州	
	3位	高松	
第24回 H9年	1位	津山	石川 (沼津)
	2位	福島	
	3位	和歌山・北九州	
第25回 H10年	1位	北九州	木更津 (茨城)
	2位	木更津	
	3位	豊田・茨城	
第26回 H11年	1位	徳山	阿南 (新居浜)
	2位	和歌山	
	3位	函館・群馬	
第27回 H12年	1位	北九州	釧路 (釧路)
	2位	石川	
	3位	釧路・高知	
第28回 H13年	1位	旭川	徳山 (宇部)
	2位	北九州	
	3位	小山・徳山	
第29回 H14年	1位	高松	一関 (宮城)
	2位	群馬	
	3位	鶴岡・宮城	
第30回 H15年	1位	豊田	鹿児島 (北九州)
	2位	宮城	
	3位	和歌山・群馬	

年次別大会成績一覽

回 年次	成績	学校名	主管校 (開催校)
第31回 H16年	1位	高松	沼津 (岐阜)
	2位	北九州	
	3位	宮城・徳山	
第32回 H17年	1位	近大	群馬 (群馬)
	2位	北九州	
	3位	宇部・福井	
第33回 H18年	1位	群馬	舞鶴 (奈良)
	2位	宮城	
	3位	石川・高松	
第34回 H19年	1位	宮城	弓削 (高松)
	2位	徳山	
	3位	群馬・北九州	
第35回 H20年	1位	旭川	函館 (旭川)
	2位	福井	
	3位	明石・佐世保	
第36回 H21年	1位	近大	都城 (熊本電波)
	2位	高松	
	3位	北九州・秋田	
第37回 H22年	1位	近大	富山(射水) (石川)
	2位	仙台(名取)	
	3位	函館・石川	
第38回 H23年	1位	仙台(名取)	茨城 (群馬)
	2位	近大	
	3位	群馬・阿南	
第39回 H24年	1位	群馬	米子 (徳山)
	2位	秋田	
	3位	旭川・徳山	
第40回 H25年	1位	神戸市立	仙台(名取) (秋田)
	2位	大分	
	3位	鶴岡・熊本(八代)	
第41回 H26年	1位	一関	新居浜 (香川高松)
	2位	豊田	
	3位	釧路・阿南	
第42回 H27年	1位	近畿大学	沖縄 (久留米)
	2位	北九州	
	3位	久留米・群馬	
第43回 H28年	1位		豊田 (福井)
	2位		
	3位		

会場案内図



<丹南総合公園野球場まで>

○お車でお越しの方



車で15分

○公共交通機関でお越しの方



車で10分

<鯖江市西山公園野球場まで>

○お車でお越しの方



車で15分

○公共交通機関でお越しの方



車で10分

救 急 病 院 連 絡 先

※受信前に電話で受診可能かを確認してください。

病院名	住所	電話番号
公立丹南病院	鯖江市三六町 1-2-31	0778-51-2260
高野病院	鯖江市本町 2-3-10	0778-51-0845
林病院	越前市府中 1-5-7	0778-22-0336

タ ク シ ー 会 社

タクシー会社名	配車電話番号
相馬タクシー	0778-51-0559
相互タクシー	0778-51-0744
鯖江タクシー	0778-51-5824

全国高専体育大会の歌

山口誓子 作詞
大橋 博 作曲

行進曲

f

わ ころど - わ れら - き り つ の も と
わ こ う ど - わ れら - は な つ の さ か せ
ひ い ず る - く に の - あ お き や ま な

に - ち か ら を つ く す - こ こ に ま こ の じ ゆ う あ
て - は かな を た す け て - こ こ に こ と つ ら き む す び あ
み - そ の か た ご う け て - こ こ に ひ た す ら き そ い あ

り - は え あ る ス ポ - ツ は え あ る ス
う - し う た る わ し ス ポ - ツ し う た る わ し ス

ポ - ツ -
ポ - ツ -

- 一、若人吾等
規律の下に
力を尽くす
ここにまことの
自由あり
栄えあるスポーツ
栄えあるスポーツ
- 二、若人吾等
花を咲かせて
花を援けて
ここに一つに
結び合ふ
親しやスポーツ
親しやスポーツ
- 三、日出づる国の
青き山脈
その加護を受けて
ここにひたすら
競い合ふ
美しスポーツ
美しスポーツ

実施要項・組合せ・大会結果は

こちらをチェック↓



URL: http://www.fukui-nct.ac.jp/43th_baseball/

